

# 様 腰椎後方手術の入院日程表

受持医: \_\_\_\_\_

	入院～手術前々日	手術前日	手術当日( / )		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～10日目	手術後11日目～退院
月/日	/ ~ /	/	手術前	手術後	/	/	/ ~ /	/ ~
検査 治療 処置		必要があれば、除毛や爪切りを行います	手術着に着替えます ストッキングを履きます	手術後、酸素吸入をします(時間は麻酔科の指示により異なります) 傷から排液を促す管が入ってます 血栓予防の機械が足についてます	採血(1・3・7・14日目)、レントゲン撮影(7・14日目)を行います 歩行を開始するときを外します		排液量に応じて管を抜きます	傷口を消毒してフィルム材で保護します
点滴 注射 内服	飲んでいる薬を確認します		普段服用している薬があれば別紙(薬の服用中止指示説明用紙)に沿って服用して下さい 食べたり飲んだりできないので点滴をします 手術直前に抗生剤の点滴を行います	抗生剤の点滴2回を行います 痛みに応じて坐薬・注射の鎮痛剤を使用できます	抗生剤の点滴を8時と14時に行います(固定術のみ) 鎮痛剤の内服を開始します	抗生剤の点滴を10時と22時に行います(固定術のみ)		
食事	患者さんの状態により食事を出します	夜9時以降何も食べないで下さい 水、お茶は飲んでかまいません	朝から何も食べないで下さい 朝7時まで水、お茶は飲んでかまいません		朝から食事を再開します			
活動 リハビリ	自由 入院時の持ち物 入院日程表、入院のおしり、基礎情報用紙、入院診療計画書、入院証書 輸血承諾書、特別療養環境入室申込書、診察券、保険証、保証金 現在内服している薬、下着類、ティッシュペーパー、リハビリシューズ、T字帯		手術後はベッド上安静です(看護師が体位を変えます) 膀胱内に尿の管が入ってます	看護師つきで歩行器を使って歩くことができます(歩行状態が安定していれば徐々に単独での歩行も可能になります) 歩行ができれば管を抜くことができます				入院前の歩行状態となり医師から許可が出れば退院可能です
清潔	自由	シャワーまたは体を拭きます			適宜、体を拭きます		医師に確認後、シャワー浴が行えるようになります	
説明 指導	承諾書(入院・輸血等)を提出してください 手術前日までに麻酔科外来を受診します( / )	薬剤師が訪問します	貴金属・指輪・時計・入れ歯・コンタクトレンズ・メガネ・ヘアピン等ははずして金庫内に入れてください 手術室の看護師が訪問します	麻酔科医が訪問します	退院後、38度以上の発熱が続くようなら以下に連絡してください 緊急連絡先：練馬総合病院 03-5988-2290		退院先を決めてください	＜退院後の生活について＞ ・コルセットは医師から指示があるまでは装着してください。 ・腰を過度に曲げたり、重い荷物を持つことは避けてください。 ・特別にリハビリは必要ありませんが、毎日歩くようにしてください